

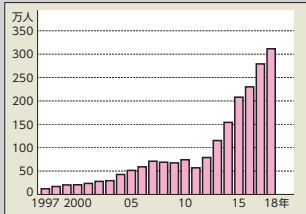
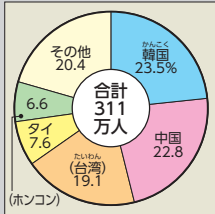
デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.280-281 北国の自然を生かした観光業
2. 目標
 - (1) 北海道では、豊かな自然や新鮮な食べ物を生かした観光業が盛んであることを理解できる。
 - (2) 北海道の観光業の持続可能な発展に向けて必要なことについて主体的に追究できる。

3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・北海道には魅力的な観光地が多いことと、観光客が増えた理由について理解している。
思考・判断・表現	・北海道を訪れる外国人観光客が増加している理由を、北海道の自然環境の特色から考察している。
主体的に学習に取り組む態度	・環境を保全しながら観光業を発展させるための取り組みについて、主体的に追究し、説明している。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
導入	1. 「ラベンダー畑を楽しむ観光客」の写真を題材にし、本時の課題をつかむ。 2. 北海道への観光客が増えている理由を予想し、学習課題への見通しを持つ。	資料・発問  p.280 1 写真の場所を地図帳で探してみよう。  p.281 5 (左)  p.281 5 (右) 二つのグラフからいえることを挙げ、そのような変化がみられる理由を予想してみよう。	○ 「ラベンダー畑を楽しむ観光客」の写真を題材にし、写真の場所を地図帳で探させながら、本時への導入を図る。 ○ 外国人観光客数のグラフであることを補足しながら、観光客が増えている理由を予想させる。 ○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。
展開	3. 北海道では、豊かな観光資源を生かす工夫がされていることを理解する。 (1) 自然環境を生かした観光資源	 p.280 2  p.281 4 写真に共通していることは何だろうか。	○ 北海道の観光資源の共通点を考えさせる。 ◆ 冬の厳しい自然環境を生かして、観光客を呼び込もうとしていることに気付かせる。

展開	(2) そのほかの観光資源	 p.281 6  p.280 3 北海道は、ほかにどのような観光資源があるのだろうか。  地図帳 p.144 ⑨  p.269 <table><tr><th>季節</th><th>場所</th><th>目的</th></tr><tr><td rowspan="2">(略)</td><td>(略)</td><td>(略)</td></tr><tr><td>(略)</td><td>(略)</td></tr><tr><td rowspan="2">(略)</td><td>(略)</td><td>(略)</td></tr><tr><td>(略)</td><td>(略)</td></tr></table> 資料などを参考に、北海道に訪れたい季節と場所、目的を考えてみよう。  p.281 7 木道が設置された理由を考えてみよう。	季節	場所	目的	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	◆ 北海道は、豊かな大自然を生かした観光資源のほかに、歴史的な景観、新鮮な食べ物などの観光資源に恵まれていることを理解させる。 ○ 学習プリントを活用し、北海道で観光したい季節と場所、その目的をまとめさせる。 ○ 北海道の学校では、道外の人に勧めたい季節と場所、目的を考えさせる。 ○ 黒板などに、班の意見をまとめさせ、発表させる。 ○ 知床五湖で高架木道が設置された理由を、自然環境との共存の観点から話し合わせる。 ◆ 観光の振興のほか、環境保全の観点や動物保護の観点から設置されていることに気付かせる。
	季節	場所	目的													
	(略)	(略)	(略)													
		(略)	(略)													
(略)	(略)	(略)														
	(略)	(略)														
整理	6. 本時のまとめをする。	北海道の観光業の持続可能な発展に向けて必要だと思ふことを、説明しよう。	◆ 北海道の観光業の持続可能な発展に向けて必要だと思ふことについて、経済活動と環境保全のバランスや増加する外国人観光客への対応などの視点に着目して説明できたか確認する。													
	7. 学習課題への振り返りの活動を行う。	「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。	○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。													
節の振り返り	8. 「節の問い」への振り返り活動を行う。	北海道地方の自然環境は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。 この節で学んだことから、次の章の学習に生かせることを考えてみよう。	○ 「節の振り返り」へ記入させ、次章の学習へつながりを持たせる。													